油豆行情（四月二十九日）
營市元豆六吊百至六吊三百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
第市共上車三十餘輛
營埠市共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙 一全 一圓八十錢
一連紙 一連 一圓
一フールスカツプ 一全 四圓
一中判洋紙 一全 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢

一全三組揃具
一椅子 一圓五十錢以上
一簞笥 三十圓以上四十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一縞毛布 一枚
一長火鉢 四圓以上六圓五十錢
一箱火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一宜德火鉢 一對 二圓以上三圓五十錢 六圓以上九圓

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日者每行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

特別廣告

告示

一 本年二月より六月に至たる牛營間土地貸下料未納者にして七月十五日迄に尚納付せさるものは其土地の貸下を廢除す

明治三十九年六月二十六日 營口軍政官 與倉喜平

公告

電話交換手募集

當局電話交換手を募集す志願の者は（滿十六年以上二十五年迄にして高等小學卒業者しくは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人に限る）志願書に自筆の履歴書を添へ携帯出願すへし

明治三十九年六月 營口軍政署電話局

日本郵船株式會社 滊船出帆廣告

山東丸 廿八日出帆 太沽 芝罘 門司 神戸行

大連出帆

横濱丸 七月六日 大連出帆 門司 神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社 營口 滊船出帆廣告

能登丸 七月四日入港

代理店 ブツレユ兄弟商會 東口公園地横 遠來洋行（電話二十三番）

滊船出帆廣告

頼朝丸 廿七日大連、門司、神戸行
日海丸 三十日門司行

松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話（五二五七）

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

横濱正金銀行牛莊支店

本支店出張所 横濱 神戸 東京 長崎 大阪 倫勤 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 天津 北京 大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

（電話十番 支配人室）（電話百八番 事務室）

ஃ宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋燭火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽歟待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧易勝榮幸之至

總司理人 田中賴之助謹白

開設老爺閣街同盛德院內 電話（店一八三番 住所五五番）

ஃ東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡租輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜發設有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人 葉亮卿謹白

ஃ東永茂

本號在營口創辦油榨生意多年以本營業非做油房豈及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店來往交厚並與各南北客經理有年賦信相孚遐邇知之

正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

ஃ西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

ஃ仁裕號

係發運各國火輪鐵生意兼賣各報洋什貨檔石等此佈

營口西大廟街路北營乙第十三號

ஃ丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸

丸三洋行分莊謹啓

ஃ永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許設運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧內 西櫃（電話九十八番）

ஃ代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撒枯拉）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙愉鶴牌（隆沽來爾）清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸尊欲購請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

SP 糸平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告

營口元神廟街元神廟南邊路西 朝日ビール特約大販賣（電話一百九十二号）

三井 電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津 上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙 王鹿芹 朱斐章 先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦 諸貴商所樂聞乎如蒙 賜顧請逕至大德亨內面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即般實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已 諸公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行 電話 第六十六號 第九十一號

周 鐵道 遼河 裕和盛運輸局（電話八十一號）

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

銃砲火藥 軍刀販賣業

本行蒙 官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也

營口元神廟街第十號 官許商 武田洋行

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街 第五號 門牌便是

繩叺莚販賣廣告

精々強勉仕候間不拘多少御注文奉願候尚ほ當地にて御入用之御方は南永世街三十七號地岩村眞藏方へ御申越被下度候

大連市西通り二丁目四十三號地 東京 門倉出張所

丸重洋行 貨物運輸

啓者 本行前在營口躉賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉值籌貨主之利便爲旨 如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞

電話 營口拾八番 牛家屯四拾六番

青堆子 菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白

本主人謹白

營口 華盛通轉運行

啓者本行專以代客運送各城貨物格外從廉倘蒙貴商光顧請至本行面議可也各站口皆有分設帳房格外周到不誤主顧現居西水晶宮東頭裕順興內特仰周知

本行總理事人 揚兆豐 敬啓

營口永世街 森醫院 院長醫學得業士 森嬌

齒科部 主任齒科醫士 兒島市郎

啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅緊胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之溷濁面貌爲之失形況疾患罹於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀輾轉反側主爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奥巧技入神齲齒凹窩則須納去疼痛而後填塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲入齒株無殘根者則以護模製之座床列植義齒其他或藏齒頭以金冠或欲人義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不變有齒患矣然中國醫界之風潮尚未發達治齒之術措而不問殊爲憾事本院主引爲已憂測然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇到其術極巧其價極廉以期普遍救治並發揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

志岐組 木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光顧請到本棧面議

遼河運輸 同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請向本號面議特仰週知

營口南永世街 同濟公司總局
馬蜂溝 同濟公司分局
營守屯 同濟公司分局
通江子 同濟公司分局

廣告料 一年月以上一ヶ月以内 銀十五仙乃至十… 一長期連揭減價面議

Rates for Advertisement 20 cts. per line. Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

東京電報 (六月二十六日發電)

●**米博覽會と我艦隊** 米國ゼームストンに於て來春博覽會開設を機とし大觀艦式を擧行するに付日本艦隊の一部と東郷大將との來港を求めたり

●**各大臣其他へ御下賜金** 二十五日思召を以て各大臣及ひ兒玉東郷兩大將に御下賜金ありたり

●**又々統監へ投石** 伊藤統監京城歸任の際安城驛附近に於て其滊車に投石したるものあり嫌疑者三名逮捕せらる

●**勳績調査畧結了** 陸軍勳績調査略ぼ結了せり行賞標準は兵卒勳八等下士准士官は勳七等中少尉は勳六等大尉は勳五等なり七月より准士官以下の凱旋順により發表すべし

雜報

●**列強國の軍事費**

倫敦タイムスの報する所に據れは英國陸軍省は一九〇四十五年英國印度其他の諸強國の軍事費に關する報告の調製中にして遠からす發表せらるへし次に記せるは其內容なり

英聯合王國	三一、五五五、六三八磅
印度	二〇、一七五、七四三磅
佛蘭西	二七、三九八、七四三磅
獨逸	三二、二四一、六二四磅
伊太利	一一、四五一、三四〇磅
墺匈國	一七、五九五、〇七二磅
日本	四、七八七、四五七磅
露西亞	三八、八四一、七八四磅
北米合衆國	二三、一六八、七七三磅

右の內英國の分は軍事公債に關する經費を含み公債償還の年賦額を除けり佛國の分は海外殖民地軍事費三、七二三、一七六磅を含まず獨逸にありては軍人年金及び殖民地軍事費四、八九〇、四〇八磅內(三、九五九、五二七磅は臨時費)を除き又日露兩國の臨時軍事費は全く之を控除したり

●**關東半島の開放**

大連灣を開放して自由港となすの計畫あるは既報の如くなるかこれと同時に關東租借地全部を開放するに至るへしとのことなるが假令全部を開放するとしても同租借地內には旅順軍港もあれは別に要塞地帶法の如き細則を設けて種々の制限を附せらるへく又外國船舶の出入し得へき港灣をも指定する筈なれは租借地全部の開放といふも矢張輸出入港は大連のみなるへく而して其開放實施期は尙未定にして目下それ〳〵準備中のよしなるが租借地全部開放するも同地內は日本の領土と同樣なれは外國領事の如きも日本內地駐在の領事と同しく領事裁判權を有せさるものにして內外國人を通して裁判し得へき相當の司法機關をも備へさるへからす旁々其開放準備に諸般の設備を要するを以て目下の所尙ほ開放期は未定なりと云ふ

●**滿洲總督巡撫** 清國政府は滿洲に總督を置くことに決し直隷總督袁世凱を候補者に擬せしも袁氏は固辭して已まさるのみならす氏は直隷總督として目下最も重要なる人物なれは他の人を任命すへく種々人選の結果現奉天將軍趙爾巽を其儘滿洲總督に任じ而して現に趙將軍の部下として敏腕の聞えある史念祖を巡撫に任すへしといふ

●**統監更迭談** 伊藤統監は夙に辭任の意あり數旬の滯在中元老其の他との交渉も略成立し伊藤侯は本年中を限りて統監の職を去り後任は前總理大臣桂伯と決定したりと云ふ桂伯外遊の噂が何時か沙汰止みとなりしも之が爲にして統監更迭の曉は總務長官鶴原定吉氏も亦進退を共にすへく氏は其の就任の當初伊藤侯在職中との條件を以て就任したる次第にて在職期は長くも一年が關の山なるへしとは曾て同氏が人に語りたる所なりと總務長官の後任には例の柴田前翰長に亦內定せるか如しと

●**露國爪牙を現はす** 北京駐劄露國公使ポコチロフは清國外務部に通牒して清國政府にして近來滿州各地に跋扈する馬賊を鎭壓統治するの力なければ露國政府は該地に軍隊を派遣すべしと迫まりしかば清國政府は露國の口實を防壓せん爲めに軍隊を蒙古滿州の地方に派遣するに決したり(ノース、チャイナ、デーリーニウス)

●**ウイツテ退職內情** ウイツテ伯は露國の大政治家として世界一般に認められしに拘はらず頃者露國に於ける彼れの人望は全く失墜して過般の退職に際しても親友の外其引退を惜むものなかりし由なるか今其退職の內情なりとして露國新聞レツクに記載する所に據れはウイツテは二個の事情の爲に引退するに至りしものにして即ち一は立憲的民主党露國議會の多數を占めし事一は露國外債談の首尾能く調ひし事なりと云ふ元來露帝は一個人としては固よりウイツテを好まず唯外債募集の時の如きウイツテの斡旋を必要とするを以て彼に賴らさるへからさるも外債談既に成立せし今日に於ては平生より嫌忌する彼なれは特に在職せしむるの必要なく結局彼は帝室にも新議會にも容れられさる爲止むを得す辭職するに至りしとなり

●**クロンダイクの人工降雨** 北米クロンダイク金鑛地方にては近來降雨なき爲め採金上困難を感ずること夥しく之れか救濟の方法としてユーコン政廳は降雨技師ハツトフイールド氏を雇聘し人工降雨法を以て十日間降雨せしむることを企圖し成功の上は一万圓の報酬を爲すへきを約束し其の審査員として政府より三人ハツトフイールド氏より三人を撰び更らに右六人の審査員の協議にて一人を撰び合計七人の審査員によりて技師の降雨術の當否を審査すへしと云ふ

●**大連昨今の商況** 秩序なく系統なく混沌亂脈頗ぶる錯綜雜駁なる是れ今日の大連の商業界なり試に商品に對し一二例を引かんか賈に清酒の如き一樽安きは五六圓よりあり而して稍〻上を以て稱せらるゝものにして十圓乃至十二圓位の價格を保つに過ぎすなる程其店舖販賣の銘酒に就きて相場を問はゞ體面を重んじて一樽十七圓乃至十八圓との相當價格を稱へ居ると雖も然れとも他に安酒の盛んに立廻るあり此安酒の爲めに左右せられて相場は上下せしめらるる目今大連に在高六七千樽あるべし而も暑氣に向ひたることとゝて賣行鈍ぶり且つ此夏を保持する能はさる恐れあるより遂に此亂賣を見るに至れる也麥酒は暑氣に向ひたることとて相應に賣行あり最も賣行多きは朝日なり四月以降今日迄大連に輸入したる同麥酒は一万二千四百函尤も此內の多くは露の勢力範圍圈內に向け搬出されたるものなりといふ朝日に次て賣行よきは札幌なり目今の麥酒相場はエビス、朝日、札幌仲間取引八圓八十錢より九十錢小賣九圓東京麥酒の仲間取引八圓六十錢 箱賣八圓九十錢而して以上の各麥酒の一瓶賣は二十五錢なり不思議にも價格を超然保持するはキリンにして仲間取引九圓七八十錢一箱賣十圓一瓶賣三十錢なり兎に角各商店とも懸金募集に汲々として賣るを欲せす即ち賣れは懸けにせさるへからさるに依る假りに千圓の掛け金一回の集金其十分の一の百圓を得るに過ぎす之れ大連商勢の一斑なり

●**南滿洲に於ける英人の傳教**(承前) (二十一日 刀水生)

英國傳導會社が傳教上須要の配置に周到なる用意をなせること實に上記の如し殊に未開の人種に對する傳教上の方便として必す醫師を伴ひ或は單獨に之を派遣するこ古來一切の宗教を傳導するに缺くへからさる道具として用ゐられたるは歷史の克く證明する所にして彼等亦た此方を採れり而してその宣教師醫師等の多くが到る所に家族を携へ索漠たる滿洲內地荒原に於いて尙ほ恰も沙漠の中の沃池の如く其處に離るへからさる樂園を描出し以て其の所謂天國を實現し欣揚として布敎の事に從ふは是れ亦た善く根底ある事業に礎を置きたるに異ならす夫の贖々者流か徒らに其の聲を大にして其形容を壯にして何等の成績を擧ぐる能はさるに比して夫れ幾干ぞや且つ其の傳導會社なるものが之れが爲めに投する費用の如き亦た以て夫の所謂勢力扶植機關の之れをも比較すへからす彼等か每年營口に於ける會合に於て報告する所の會計年次報告を見れは忽ち彼等が年一年其の勢力を實際に扶植して一朝有事に際して確乎不動の大地盤を有すへきを信せしむ今假りに千九百五年度に於ける會計報告書を見るに

	弗 仙
敎會雜費	二、三一三、九〇
敎會付醫院費	二三、七二一、〇三
諸學校費	一、二四九、〇二
聖書協會費	三一五、七九
病院費(獨立)	一八〇、一四
諸給手當	一一、五四一、六三
雜費	一九〇、〇〇
合計	三九、五一一、五一

歲出三万九千五百十一弗五十一仙決して驚くに足らずと雖も亦た少しと云ふべからず此の多額の費用を投じて買ひ得し所のもの幾干ぞ報告書は示して曰く

千九百四年度の信徒總數	一万二千七百三十人
千九百五年 仝	一万三千七百廿三人
差引增加信徒數	九百三十二人

と而して彼等は亦必ず所謂ミツシヨン、スクールなるものを有し南滿洲各地に於いても此種學校大小通計六十九を數へ男生徒六百五十三女生徒三百五十八を敎育しつゝ在りて二年前よりは奉天に高等學校を新設しギレスピー博士の監督下に五十七人の生徒を收容し銳意傳教の傍ら新思想の注入に努力しつゝ在りと云ふ其の主義を貫徹する爲めに國家利益の增進を企圖するが爲めに全力を擧げて邁往すると共に宣敎師等が其使命に忠實にして柔順克く忍耐して功を永遠に期せんとするは誠に國家の要求を領會するものと云ふべし斯くて英人は世界に自家の勢力を扶殖し陰に陽に國利民福を增進せんと期せり嗚呼ユニオンフラツグの飜へる所勇敢なるアングロザクソンが唱ふルールブリタニヤは海波に反響して母國萬歲を祝福し監督派會堂の屋上に立つ十字架は德を垂れて恩を地上に藉けり狹斜の巷に横はれる陋屋が醜を天下に漲らして我利〳〵亡者の先驅となると何れぞや

●**林公使の滿洲視察** 新任清國公使林權助氏は愈〻去る廿二日を以て東京を出發せられたる由なるが同公使は赴任の途次滿洲を視察せらるへき筈にて韓國より安東縣に出て更に大連に出て旅順に赴き奉天に行き最後に營口へ來るへき豫定にて已に其旨當軍政署へ通信ありたりといへは來月上旬には其來營を見るへしとなり

●**昨日の端午節** 昨日は陰曆五月五日に當り端午の節句なりしを以て支那人の各商戶は家業を休み一日を歡樂し市中人出多く我軍政署亦半日を休業し正金三井等も一日を休業せり

●**放浪の記**(續き) 杜 萬 頃

六月廿日、遼陽の慈善演藝會は三日間を五日間に日延した其の大繁昌を想像するに足る併し餘りの日延はよきものに無之候演藝會の細評は緣城君の任務余輩は他人の繩張りへは入り不申候遼陽知州何厚琦氏、稅捐總局長趙孚氏は倶に冠を挂けた余は兩氏に文字の交あるに因りて告別の爲めに之を訪ふ氏等は行李を戢めて鞏研ある、而して余は清語を解せす氏等亦た日本語を知らす情餘りあつて意到らず頓んだ悲劇を演じ申候何氏は特に車站より一詩を賦して贈る曰く

余於去冬來宰斯土、奉檄回省、作此留別錄呈 戶水仁兄大人吟正 子彰 何 厚 琦

遼陽天塹古襄平、守土由來幾代更、期月可能安外攻、滿腔不悉爲民生、別筵杯酒洮離緒、後會郵筒寄遠情、幸謝故人堪自慰、風飃雨袖一般清

斯詩を余と仙波將軍と兒島大佐の三人に贈つたのは奇なる配合に候

此日午下六時、遼陽を發す車中に小松海藏氏に遇ふ氏は余の遼河運河開鑿議に反對したる仁にて愛に相逢は所謂吳越同車に御座候又た大倉組の柴田虎三郎氏營口の太田喜輔氏も同車致候

二十一日、午前九時大連に着す余大連歸來を急ぎたるは同鄉人本多男爵一行の來連に付き之に會合すべく行を早め候に此時遲く彼時早く首尾よく面會せさるは遺憾至極に御座候

此夜天空、風外兩夫妻と東京坐に壯士劇琵琶歌を見物致候例の駄辯を試み度候へ共營口の人にはホツテントチアの火事とも感せす候へはこれにて擱筆仕候匆々

●**目睹耳聞** 支那人氣質に就て今少しく語つて聽かそう、支那民族が最も多く海外に出稼をするのは恐らく古の所謂閩粵の地即ち福建及び廣東人種であらう▲此等閩粵民族は今や全地球上に分布してゐて西人の所謂世界何れの邦土と雖も狗と支那人丈は住へりと驚いたのか嘲つたのかは知らぬが實際その通りであるらしい▲その內で閩人は主にスマトラ、フヰリピン、から濠洲木曜島をかけて亞非利加のマダカスカル邊迄を出稼的勢力範圍としてゐるらしい▲同し保守主義の民族でも粵人即ち廣東人種は稍開化に近い方でヘルメツト形の夏帽子や洋靴位穿くのであるが閩人即ち福建人種と來ては絕對的に守舊主義である▲渠等の出稼人は主に廈門を出口として季節が來ると一雙の船に何百人乃至何千人宛一纒めとして所謂ヂツキパセンジャーとして荷物同樣に目的地に輸出せられるのであるが渠等は徹頭徹尾ヤラズブツタクリ主義を勵行するのである▲先づ出稼人の隊伍の中には必要欠ぐべからさる人間が二種あるのぢや其一は剃頭で其一は靴直しであるこれ丈言ふて置けば後は說明しなくとも自から其性格が躍如たりだろう▲それから祖先のお祭の時に渠等が燒く金紙と線香其他生活上に必須欠ぐ可からさるもの丈は別に支那商人がついてゐて萬遍なく供給される仕組に出來上つてゐる▲尤も滑稽であるのは瓢簞といつて兜蟹の甲羅で作つた水柄杓まで携帶するのであるから渠等は出稼地に往つても日常の食物の外には何等の物品をも需用しないので渠等の出稼人中普通三年間で三四千弗宛赤手で以て儲けて來るのである▲歐洲地の偏見家連が時に黃禍論なるものを擔ぎ出すのも强ち無理と思はれないような氣もする。

●**銷夏録** 小樵生

雪の卷(五)

僕が筆癖を知悉せる知人某遙かに書を大連から寄せて今少し艶ッぽいのをとの注文であつたが僕は元來野暮の骨頂で艶的なぞは思ひも寄らないのであるが折角のお言葉ゆへ枉げて一つ二つ似て非なるものをお目にかけよう。

「風ひかぬように召しませ猪牙とやら」若しも公方時代であつたとなら大名小名乃至旗本の若殿原が、雪の旦花の夕に鼓胴あたりの婀娜ものを携へつゝいざさらばと猪牙船をばツクと水神八百松の岸邊に繫ぐとも知らぬが佛か菩薩のようなうい〳〵しいお姬樣育ちの奧方から「お叱くおかへり遊ばしませ」と送廻はしに燒かれて後から着せかけられた羽二重紋付の羽織の紐をばテレ隱しにグツと結んで每度細君を孤閨に泣かしめたであらうが、苟も二十世紀の今日姬御前のアラレもない表情体操とやらも學課の中に數へてお茶ツピーを振廻はし玉ふ時代に於て萬が一にも連添ふ我良人に箇樣なフシダラがあらふものならそれこそ大變、狐色位ならまだしも眞黑に燒いて粉にでもせらるゝであらう……

今年の紀元節の日であつた、春の名殘りの雪を賞せんとてか、向島三圍稻荷の下手から離れ〳〵に伴れたつ男女二人の影が現はれた、男の方は遠くに三十路の坂を越して軈て四十にも近からんと思はるゝ色の淺黑い稍苦みの走つた、いつれ浮世の荒浪を喰つてビクともせざりし凛々とした面魂、大島紬の綿入に同じ縞の羽織を重ねさも輕薄らしいインバネスなんどの態と着ぬところを見ては滿更捨てた男振りでもなさそうなり。五六間離れて後からつき從ふ女は言はずとも知れた先なる男の細君年頃二十二三と覺しくいと﨟闌た丸髷姿、そのスラリとした脊丈はフツクリした豐頰と釣合の妙を得て、道すがら摺違ふ雪見歸りの生醉の淺草兄イ達がイヨー適れ令夫人と冷評かす度に滿面サツと紅潮を漲らしつゝ俯向せ玉ふ優しさ奧床しさ。

今しも良人は言問團子の垂櫻の下を過ぎんとせる途端に不圖團子屋を覗くともなしに振向くと豚のように肥え太つて目も鼻も兩頰に隱れてゐるかのような銀杏返しの姐さんが矢庭に「オヤ〳〵且那何處に往つしやるの」と聲をかけたので知らぬ顏して行き過ぎんとしたのだか相手は去るもの何條其儘に見逃がすべき、鷲のような腰つきで突如男の前に立塞がりつゝ「この節は酷いお見限りようでは御座いませんか浮氣でもなさるとこの通りですよ」と胸倉を取つてコツク眞似をするのであつた此女こそ一中節の名人として淺草界隈にその名も高き故圓朝の情婦老松それである。

「燒く程に亭主廓でもてもせず」は確かに斯道一部の眞理であるが、縱令戲談にもせよ日頃妻君の手前嚴格を裝ふてゐるのがツイ眼の先で惡巫山戲される程辛いものはないので、況してそれが素的滅法界なるお多福と來ては、、、、(傍より木莽冷かして曰くオイ君それは全体誰のことか)

日報俳壇

屋根の上に犬も出て居る納涼かな 棠雨
打水の町に轍の亂れかな 醉雨
初茄子わか指のあとつきてたり 甫人
こゝろある人にふる哉虎か雨 仙橋
天壇に雨乞ありし三日かな 半骨
おもひ寢の郎に逢ひしを明易さ 仝
腸をふみ出されたる毛虫かな 雷北
涼風に身をまかせてやハンモツク 千曲
雛僧の蟬なく大樹狙ひけり 山水城
たんねんに蚊遣りして居る坐頭哉 野梅

▲左規により俳句を募る
夏季雜題 期日に關せず掲載得るに從ふ
課題 夏の月、單衣、蠅、六月末日まで
本社編輯局俳壇宛に投寄を乞ふ
▲派の新舊問ふところにあらす淸新なるをよしとす
▲選句者は米足齋野梅氏なり

大連
關內外鐵道
上り 營口發前八、三〇 七、〇〇 溝幇子同九、四五 九、〇〇
下り 山海關發前七、〇五 錦州同后三、五五 四、四五 二、〇五

東清鐵道
上り 新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、毛 營口發前六、三五 后六、三五
下り 溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、毛 大石橋發前八、二五 后一二、一五

淡谷
本號開設營口東街堆子發賣 栢木方料 栢木元料 紅松料 木油 松方料 元木 大小

歐米各國最新流行形
諸鐵工製作
電話

營口地方天氣豫報 自六日午後六時 至六日午後六時

雜報

●遼陽演藝會餘聞　厄介坊

五日間打通うしの演藝會も滯りなく千秋萬歲樂を告げしが初め此の慈善演藝會は頗る難產の態にて行惱みおりたれば成立覺束なく噂されしに思ふたよりは生み易き譬の如く愈よ開始と相塲極まれば料理屋の同業者は俄かに力瘤を堅め氣を揉み出し委員は万事を放棄して東西に奔走藝妓は寢食を忘れて稽古に熱中し始め月の十一日と云ふ間際に準備に着手十六日開演に至りたるは關係當時者も意外とする所なるべく之を要するに該官衙の賛助聲援の効は沒すべからざるものあるべし殊に連日淸人の觀覽者踵を接して詰め掛け塲內四分通り辮髮党なりしは師範學堂の犬飼氏衛生局の諸名氏幹旋努められしに依ると云ふ更らに特筆すべきは開演の五日間塲內は始終靜肅を保ち毫も喧噪暴行ヶ間敷ことのなかりし一事なりとすされば塲內取締として派遣の憲兵を煩はしたること一件だもなかりしは罕に睹る好成績なるべく搗て丶加へて出演者孰れも注意に注意を加へ風紀を紊す如き猥褻ヶ間敷動作を避けたれは其の演しものに一點の非難あるなく慥かに慈善演藝の本分を保ちたる苦心の程は觀覽者衆口一致賛辞を惜まさるべく兎も角慈善演藝の特色を十二分に發揮したるは此の會なるべし

●陽知州官宅の燒失

二十三日午後十一時過遽然非常喇叭に驚かされ戶外に出づれば城壁を隔て、城內中央の空は紅に焦されて火焔高く舞ひ上りぬスワ火事よと取るものも取り敢へず其儘城內は西街に駈付けたるに火の手は見えず巡捕は頻りに呼笛を鳴りて非常を告けおるも街上は寂寞として人影を看るなく至りて平靜なる夜景にあるを訝しつ丶日本人會事務所前に至れば數町隔ちたる知州官宅は炎々たる猛火の內に包まれおりたり斯くて淸人の往來漸く繁く驅け集まりたる時數多の巡捕は厲聲叱咤此を捉へて消防に從事せしめたるが時恰かも南風吹き荒みおりたれば火勢之が爲に猛く火の粉は風位に連れて高く散亂し頗る危險の模樣なりしが逸早くも驅付たる滿洲支庫附消防夫は多年練へたる得意の手腕を振ひ消防に盡力したる爲めさしもの猛火も零時三十分頃より火勢漸く衰へ一時過ぎ全く鎭火せり燒失家屋は知州官宅一戶なるも件の官宅は壯宏なる構造にて其長さ二十間余の一棟なりと丶へば普通家屋の數戶に匹敵し其火勢の强かりしも之が爲めなるべし

因に前知州何厚琦氏は家具家財を擧げて過日奉天に發し新任知州鮮俊英氏は單身同官宅に起臥し夫人は未だ奉天より來らざる際なりしを以て鮮新知州個人の損害は差まで大ならざるべきも傳ふる所によれば官金五万銀燒失の不幸を見るに至りたりといふ出火の原因は此の稿を草する迄は未知に屬す

（二十四日遼陽通信員發）

●元神廟街の狂犬

狂犬といへば世にも怖しき大悪徒とも時節柄に高淵比佐與の如き惡婆とも思はるべし去れと是れはこれ全身眞黑の尨犬一匹眞の狂犬にして常に元神廟街あたりを彷徨き先日來二三人の通行人に喰つきたるに一昨日も亦た仝町附近に住む相川定吉の向ふ脛に噛おりつき肉ト深く毒素を刺し込み起臥ならぬ傷を負はしたりと云へは通行の人犬に心すべきは云ふまでもなく斯かる害物は撲殺すべし

●十日間の遊興費

營口昨今市中の景况は不振なるや將た順境なるや五里霧中一向了解に苦しむ所なり市中に散在せる一般商店は何れも不振を唱へ居るも料理店は相變らず盛なるが如し即ち去る十一日より廿日迄十日間の料理店揚高を見るに合計銀二万〇五百〇三圓八錢の多きに達し此遊客實に四千五百卅七人なりと云ふ例に依つて揚高一千圓以上の家を揚ぐれば金城館の一千九百八十圓第三樓一千五百五十二圓五十錢日本館一千三百五十二圓七十錢祇園閣一千二百〇七圓十五錢等にして又最も揚高の少なき家は二本町新猫催に二十圓四十錢なりと云ふ因に現在の料理店は合計七十五軒なるも此內三軒の休業者ありて現に營業なしつ丶あるは七十二軒なりと

家庭小話

蟲干は何時すべきか

夏の土用時分には孰れの家庭でも蟲干と云つて衣服類を室內に擴げて蔭干にもすれば直接日光にも當る、之れは我邦天然の氣候が自然に此習慣を作つたので五月雨のジミ〳〵した氣節には簞笥や長持に藏つて置いた衣服等は多く黴を生じ易い、夫れで梅雨後の炎暑には黴即ち黴菌を撲滅する爲めに簞笥から長持から衣服一切蟲干をするのです、此れは至極家庭衛生の上から結構なことであるが尚此の虫干の後にモー一回秋のなかば頃に丁寧に虫干をして貰たい、詰り斯うすると二度虫干をするやうな手數になるけれど必ず夫れ丈の利益があつて第一衛生の上にも宜しく第二には黴の油斷から品質を損ずる憂ひがない、元來夏は空氣が濕り勝のものであるから太陽は近く直射して熱は多くとも夫れでも秋の氣候のやうに空氣の亂燥した日光に曝す効力には及ばない、總て黴を根絕しにするには日光と乾燥の二つが相待たなければ充分には出來ませんのですから秋の虫干は是非共家庭で實行されたいものです營口の如き梅雨期の遲い所では梅雨前と梅雨後とにするがよい梅雨前にすれば梅雨中に黴の發生を防ぐ効力があります毛皮類の衣裳を持て居る方は殊に虫干が肝要である

●內地より藝妓抱への苦心（下）　（某料理店女將談）

宿へ參りますと直ぐ樣同道で風呂へ連れて參るので御座ります何せ風呂へ連れて參りますかと申上ますと言はゞ躰の檢査で御座ります、躰の格好は申すまでもなく乳とか腹に兒の宿つて居ないか又は疵などの有無を見ます爲で御座りますそれが無事に及第致しますと今度は御膳の喰べ方で御座ります妙な事を申上ますが手前共の今日迄の經驗上並のお茶漬茶碗で御飯を喰べさしては充分行儀が判りませんので手前共は大底鰻の丼を喰べさして見ます之れが何より一番早判りで御座りますそれが無事に濟みますと寢床で御座ります妾と一室に臥さすので御座ります之れは申上る迄もなく寢顔を見るので御座ります御承知の通り素用らしい美人でも中には寢床に附きますと陰相な顔付とか大きな口を開けて居るとか枕を外づすとか斯ふ云ふ所迄も充分見屆けますので御座りますまして營口の料理屋などは尚更寢顔は充分に氣を附けねばなりません何んの事は御座りません丸でお大名樣方が花嫁樣をお仕立になる樣な塩梅で御座りますそこで首尾能く氣に入りますと始めて抱への約束を取り結びまして僅か計り手附金を渡しますと同時に公證役塲へ參りまして公正證書を取り替すので御座りますそれが完結致しますと其塲で約束をした金の半金位を先方に渡しまして殘り半金は營口へ連れて參りまして渡すように致しますそれから愈々出立となりますまでは中々の心配で御座ります何せ心配するかと申ますと此の社會では珍らしい事でも御座りませんが黑幕にはゴロツキが附いて居るとか又は其儘逃走するとか、それは〳〵中々の心配で御座りますそれから船へ乘せましても馬關の沖へ出る迄はまだ〳〵安神する譯には行きません何せと申ますと例のゴロ連中が甘く手配りを致しまして馬關で待ち受けて文句を並べたて金と云ふか女を引張らうかと云ふ始末で御座りますそうですから愈〳〵馬關をブート云ふ聲を聞く迄は一と時も高枕で寢ると云ふ事は迚も出來る事では御座りませんその替り馬關を放れますと天下泰平手前共の世の中で今日迄の苦勞は解けて高枕の大鼾聲で御座ります先づザツト斯樣の事で御座りますが御客樣の方で此の位心配苦勞を致しまして抱へて參つた藝妓の事は一向御存知なく唯無暗に沈沒料が高い〳〵とお仰せになるのは少しお察し下されませへ丶丶

投書かご

▲綏定門街の青い赤い誤料理店には元神あたりで見た怪しい女が一ツ二ツ見えるヘチな（隱匿太郞）▲私の船中の友にて目下大連に居る某といふのは年か二十五で小間物商の經驗がありますがまだ奉公先きが無いので非常に慘憺たる境遇に居りますが何處か良いお使先でもありませうかお尋ね申上げます（困却生）▲近頃奉天駐屯の軍隊では毎夜巡察と稱して三四の兵士銃劍を提げ旅館料理店に至り遊興兵士の有無を取調ぶると聲言し客室や主人の居間迄踏み込んで來る弊習がある夜中に料理屋へ遊興に行き得るやうな事は兵士の出來得べからざる事なるのみならずソンな事をしなくとも夕方の點呼後各兵營に臨檢するか又は不時の點呼を爲せば其目的を達し得らるゝで無いか營業者の迷惑と爲るやうな事はチツト扣へて貰ひたいものである（瀋陽城外公平生）▲夜の營口公園は涼しくて風通りが能くて非常に結構だが白首が哥兄を引張つてイチヤついて居るのが彼處にも此處にも居るのを見ると折角の淸涼界が滅切り暑苦しく爲つて來る（神州清潔の民）▲新聞屋さんにお尋ね申上ます妾は何の爲に毒滅を飲まねばならぬのですか近頃は餘程健康で梅毒などに罹た事はがーヘン餘計な事を書かれると娼賣の妨害になりますから廢して下され（醉花園れ福）

●姐さん方へ暑中御見舞　朴捻老

▲小つるさんへ（祇園閣）有効無害上等ラムネ水三十ダース、尙御入用なれば本家本元どロへの特約致し置き候間幾百ダースにても差上申候併し承る所に依ればお前さんは子宮病に罹り去る五月頃より日本醫院に御入院なされ居り候由御便利上病院の方へ御送り申上候や御伺申上候

▲おはなさんへ（第三樓）煉瓦五万枚但し四丈半分、早速御送り申上べく筈なれども實は製造元の釜に少々故障出來仕り爲に只今と申す譯には少々六つヶ敷樣存せられ候併し九月頃迄には是非御送り申上候間粋氣な四丈半でシツポリとお暮し被下度候

▲八千代さんへ（東京館）自用人力車一臺、姬裙には夜十二時後毎夜〳〵元神廟街へ車でお通ひ遊ばしては大に不經濟の事と存候間別途上等車一臺差上申候

▲吉勇さんへ（日本館）輕便糞尿用甕一個、口善惡ない町雀の話に依ればお前さんは西北日本人會御近所にて時折り姬御前のあられもない道端であらぬ野端で大きな尻を捲くつて糞尿をなさる由し甚だ外見よろしからずと存候間斯く輕便糞尿用甕一個差上候間適宜に御使用なさるべく候

▲おさくさんへ（金城館）遼河輸送株式會社先優株券五十枚と〇〇新聞掲載ロへ券一枚、先月より其筋へ伺ひ中に御座候間許可次第直ぐ樣持參可仕候其節は受領書の代りとして〇〇新聞へ受領濟の廣告なさるべく候

▲おきぬさんへ（日愛ホテル）妾維持論一冊由來お前さんは內地にて株式仲買商の旦的又は呉服屋の旦つく等を生捕り甘い汁を長く吸はれて居りたるも一人りの旦那には長續出來ず終に營口三界まで流れ渡られたる由それでは將來大に難義を遊す事と存候間此書精〻御熟讀の上今の〇〇さん（お前さんは最負分で名前丈はお預り置き候）は充分喰ひしばて後の患ひのなきよう祈上候　（まだ〳〵）

廣告

廣告

一綿黑毛胸部白狂卷上け尾小形のポインター犬
名はアルレー
右見失候間若し御見當り下名へ御屆被下候御方へは相當の御禮可致候

ブッシュ兄弟商會　ワデラブ

帽子手袋　エリ襟飾　シャツ沓下　靴　鞄　洋服付属品式
Foreign Goods.
各國高等雜貨　卸小賣
三友洋行雜貨部
清國營口永世街　甲貳拾五号　電話一五四
香水石鹼　婦人小間物　化粧用品　旅行用品　椅子寢台
Sanyu-yoko.

本組開設營口綏定門外專辨架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名擧其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
營口青堆子綏定門外
志岐組

土木建築請負幷ニ諸材料販賣板硝子便利瓦ウ井スキー麥酒類卸賣
營口青堆子綏定門外
志岐組

濟生八方製造發售廣告

啓者敝社長山田氏夙爲衛生起見詳査日淸韓人之体質博探東西古今之神秘研究多年始得左開八種之靈藥于茲同志相集豫備資金一十万元創立日華製藥合資會社即經官准現將本社開設於營口永世街甲一六六號精撰藥材留意製劑自造所發明之濟生八方克已從廉專向日淸韓各地方出售且卜要地設在分舖或寄售處以期衛生之治及而凶十劑以上則爲躉賣特行折價切盼中外貴客監其誠實無欺藥效亦異尋常陸續賜顧是荷

仁　爽快丸（芳香淸涼驅邪避瘟誠是常備之靈丸也　立消飲食之毒兼淸口內即是食後之要劑也　忽去口內惡臭能美香聲最爲接客之佳品也）
義　腸胃散（健胃固腸速化飲食眞是天下之靈散也　縱雖多年難症服膺數次無謂未曾全癒　則爲小兒下蟲之特效藥其名嘖々于世）
禮　婦女散（不論各般常症並胎產諸患靈驗如神所謂婦人專用之妙散也　凡婦女已迄妙齡之後須備此藥常爲袖中之至寶）
智　鎭腦散（專鎭頭腦並和神經藥效顯著誠是未曾有之奇方也　快適大小二便以解秘結而和腹內最爲古今之良劑也）
忠　消熱丸（消散邪熱立使心身舒暢神效偉大眞是必携之靈丸也　縱雖危急熱性當其初期取用靈應不誤立以全治）
信　掃毒丸（專治楊梅瘡毒以及一切毒瘡藉力無比眞可驚之秘劑也　特有掃盡小兒胎毒瘡恰似霜風吹枯葉之奇効）
孝　淸明水（專治各般眼疾之靈水不論輕重一經用過立有靈驗盲者復明　能適一切耳患之神液不拘久暫一過點用奏效異常聾者再聽）
悌　瘡傷膏（專治瘡傷等身面諸疾之妙膏即一擦用應效立著痛癢忽止　又遇蜂蝎叮螯等諸虫毒宜將此膏擦敷患處嫉痛立治毒氣悉散）

營口永世街甲一六六號
日華製藥合資會社　敬白

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
○嶄新器械○無痛手術○
○全身魔醉○局處魔醉○
○梅毒○婦人科○外科胃腸病　專門
日本醫院

滿洲第一湯崗溫泉
風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
○大石橋―○營口―○海城―○湯崗溫泉仝停車塲―○遼陽―○奉天

會席料理　三日月
營口警務署前南に入る

日本石炭新荷着
多少に係らず御用仰付られ度候
綏定門街　電話百五七
新玉倉庫

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

石材 石灰 大販賣
(營口西北街)
英治洋行
(電話三二)

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道 遼河 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール 日本酒澤の鶴 洋酒、食料品 和洋罐詰、食器 內外煙草、葉卷 エジプト、文具 化粧品、金物類 肥前白米、醬油 酢、木炭、其外 色々 卸並に小賣
彩票 每月 大連 南洋 湖北 發賣
本店 長崎 支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

○板材木　○蚊張
○金物類　○金庫
○疊建具　○花莚
○椅子テーブル　○ペンキ
○洋燈類　○文具
○鰹節雜魚　○紙類
○酢醬油　○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着入安賣
(石)
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
(電話八十六番)

廣告
轉移並に新來美形
拜啓追々著さに向ひ申候處各位益々御清榮奉賀上候從て弊樓儀今般帆樓支店跡引受け料理萬端諸事改良御手輕御清遊に適する樣店員車輪大勉强は候間內地より美形數人參り申候間何卒舊に倍し新來美形と共に御引立あらんことを乞ふ
營口平野町元春帆樓跡
月　日
都樓
坂本ちか
御各位樣

御披露
小亭義皆樣の御引立を蒙り日に增し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓名及仲居を呼寄一層勉强仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尙夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候
月　日
元神廟街
翁亭

資本金參拾萬圓
日清合股
(昌)
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通口、大連、遼陽
本公司經官准認員開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道及海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中
倘蒙遠邇貨客愛顧祈新貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特謹白
倘途倘有水濕毀壞短少等之詐僞本公司言明按照地市價包補此

日本及清國政府認可招牌爲記
胃症良藥

總售處　日本 東京 大阪 山田安民大藥房
寄售處　電話百九十番　營口永世街　回天堂三木大藥房

啓者此藥爲日本海陸両軍諸大名醫及藥劑官五名共同研究極力參考始得發明其劑其主効之顯著久已名馳內外誠蓋世無比之良藥也倘蒙　仕商惠顧　請認明本館招牌爲記庶不致誤

胃活專治効力
隔食。胃弱。多年胃弱。胃炎。胃痛
胃痙攣(卽或時疾筋)食物不進。胸痞。(食物不消化故胸積聚)宿醉。(卽昨日飲酒今日御醉)惡心
嘔吐。(吐見食)吐酸嘈雜。膨漲。或小兒吐乳等胃症若少服之則靈驗如神云

胃病形骸
胸張困苦○食物不進或食過多○胸漲痛
打臭噫○吐粘涎○吐酸水○血氣逆上則目昏花○腰腿發冷○或大便不下○或時下瀉○或腹內無力氣不時憂鬱○顏色靑黃○身體困倦○或勞働而無力○且無記憶○若少出力則厭○不時好睡此等症皆胃病之形體也

價洋
三日所服藥料定價洋一角○八日所服藥料定價洋二角五分
十七日所服藥料定價洋五角○三十七日所服藥料定價洋壹元

新荷着
旅行用トランク及手提鞄
極上等白靴長靴
臺秤及台コツピー
金庫類
中折帽子及鳥打帽子
ソボンピン及
化粧品及化粧道具
ブラシ及ノ掛
關東公司雜貨部
(電話五號)

冰
田庄臺大盛貯冰公司
飲料好適
衛生的
發賣元
營口元神廟街成功號三階
田庄臺大盛貯冰公司販賣部
(電話一三四)
特約店
大連信濃町市場前　大原商店
營口二本町　丸山氷室
營口永世街　衛生軒
營口永世街平野町角　山田氷室
營口第一市場前　松木氷室

上海
中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠並有密約之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字達墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

一瀛船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第一市場西へ入
遼河運輸
同濟公司

和洋 會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引き勉强仕候
各位樣
營口永世街二本町
日本館
(電話百三十)

支料理
滿月
平野町(電一六二)
滿月支店
平野町入口
店主 青木勝惠

廣告
一各國洋服地一切大勉强可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ
元神廟街日營貿易筋向ヒ
寶泰祥
東營口元神廟街
福興洋服所
公

松岡病院
內科 外科 眼科 婦人科 診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄
(電話一五一番)

靴製造
并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

開店一週年大賣出し
六月二十五日ヨリ
七月十日マデ
正札一割引
東京新形浴衣地
吳服太物類
化粧品小間物類
陶器類食料品類
日用品雜貨類
永世街第二市場東
石原商店

宮門抄

三十日

召見軍機

五月初一日

理藩院　光祿寺　八旗兩翼值日無引見　李侯假滿請安

振貝　請假五日　繼貝子請假十日　松公續假十日

召見軍機

王步瀛遞封奏一件

上諭恭錄

閏四月三十日奉

上諭甘肅寧夏府知府員缺著趙惟熙補授欽此

奏議

商部戶部奏議覆接濟滬甯鐵路用款摺

奏爲遵　旨會議具奏恭摺仰祈　聖鑒事竊臣部於光緒三十二年四月二十八日准軍機處片交內閣學士兼禮部侍郎銜吳郁生奏滬甯鐵路用款過鉅請免續借受虧一摺奉　旨商部戶部議奏欽此欽遵到部查原奏稱滬甯鐵路有續售小票七十萬磅之說此項路工即就已借之二百五十萬磅儘數開支每一中里約合銀三萬兩以上視他路成本浮逾兩倍公家受虧已多今若再借鉅款是唐紹儀並無補救之方查合同第四款內開所用各賬應按三個月一次呈核轉咨存案第五款內開中國國家遇有款項可以撥交公司歸入總賬與小票借款一律支用各等語是鈎勸已借支出之款自籌待用不敷之款均可按照合同辦理請飭京漢行車餘利項下指撥銀二百萬兩並將萍醴招商接辦即以盛宣懷私挪之官款約二百萬兩內外撥歸滬甯接濟一面仍由唐紹儀督飭總管理處撙節動支以昭核實等因商部查此案先於本年四月二十五日准辦理滬甯鐵路大臣唐紹儀函稱滬甯鐵路添售小票一事銀公司代表濮蘭德總工程司格林森於四月初旬來京連日磋議據末次開來清單實不敷英金六十七萬磅有奇內除去購地款十萬磅由江蘇紳民代籌或另行自籌外實不敷五十七萬磅有奇除去加增回息實約五十五萬磅請核定示覆等語臣部正在核議間適准軍機處片交吳郁生奏稱前因並續據唐紹儀致臣部函稱此事疊據銀公司代表濮蘭德再三爭辯嘵嘵不已業經曲爲解喻杜絕其冀幸之私現在續商借款一節銀公司業已緘默並稱現在存款數目倫敦存款截至本年西二月底存英金六十五萬餘磅存上海通商匯豐兩銀行暨各錢莊銀二百八十餘萬兩各等語臣等伏查滬甯鐵路路爲債重權利不免外溢業經臣部於上年十月間詳晰奏明在案目下添售小票一節雖據唐紹儀函稱銀公司業已緘默而存款之數日後是否敷用一時殊難懸揣惟按照原訂合同所載在英國用出各賬以及匯交中國工程所用各賬均應按三個月一次呈繳總管理處覆核真明督辦大臣覆准簽字方能作准並轉咨外務部戶部統轄鐵路礦務總局存案各等語原以藉資鈐束收內外相維之益業由臣部於上年三四月間將滬甯借款過鉅之故迭次咨詢盛宣懷在案而路工自光緒二十九年開辦後復由臣部文牘咨詢盛宣懷既從未具報唐紹儀接辦以來亦尚未及核准賬册咨報到部現在路工已築若干行車收款積票若干計全路告成是否實有不敷臣部既均無卷册可查礙難懸斷應請　飭下辦理滬甯鐵路大臣唐紹儀詳晰聲明此路公家受虧太鉅究竟補救之方從何入手現存各款能否設法節省就此鈎勸不再續借通盤籌畫自行奏明請　旨辦理臣部綜理路政全賴管路大臣將工料等差欵項出入切實報告俾得隨事稽核以收互相維繫之效若所報未能詳盡臣部欲施整理之方亦苦無從著手應請　飭下唐紹儀查照臣部歷次奏咨案件隨時具報至所用欵項應先報明臣部核准立案方准開支其唐紹儀接收以前盛宣懷經手開支各欵責有攸歸亦應由盛宣懷趕速詳細報部以重工欵至萍醴鐵路前由盛宣懷於京漢官欵內支撥建造業由臣等以盛宣懷事前並未奏明立案礙難核銷等因於上年九月間奏明在案此路係動用官欵修築應再由臣部行催　盛宣懷將一切欵目案由詳晰具覆再行奏明核辦原奏所稱招商接辦撥歸官欵一節應毋庸置議又原奏所稱指撥京漢行車餘利二百萬兩即於應交官欵息銀內分年攤扣一節戶部查京漢行車餘利應繳官欵息銀前因臣部籌欵艱難咨行督辦鐵路大臣唐紹儀商訂交息辦法以爲將來撥用之需且滬甯路欵既據唐紹儀二次函稱倫敦尚存英金六十五萬餘磅上海各銀行錢莊尚存銀二百八十餘萬兩是存欵尚鉅不惟不應再借洋欵更可無須動撥官項所請指撥京漢行車餘利之處礙難照准所有臣等遵　旨會議緣由理合恭摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒訓示再此摺係商部主稿會同戶部辦理合併陳明謹　奏閏四月十三日具奏奉　旨依議欽此

中外要聞

●俄干預用人權　官場消息駐京俄璞科第君日前奉本國政府命照會外部請派周冕委任哈爾濱鐵路交涉局總辦照舊辦理中俄交涉聞其藉口年前周冕奉貴政府命與敝國委員訂立種種條約熟悉中俄於東三省之交涉情形遇事頗易辦理云云蓋周冕年前在黑龍江與俄督訂結密約將江吉兩省利權均讓與俄國故俄使之意欲保周冕充派哈爾濱交涉局總辦市恩籠絡以留要求地步且欲迫令其實行密約也外部諸公早知俄使用意所存嚴詞峻拒略云哈爾賓鐵路交涉局總辦充派何人係敝國內政權限與貴國無涉毋庸逾分干預等語按周冕密約係以私人資格訂約者未由政府允認故該約如廢紙同未可以爲條約然俄使藉端倡言其權利今更進一步因此干預我國內政請派周冕委任鐵路交涉局總辦噫其望之奢寔不可揣度也

●電告常德開埠期　湘撫龐中丞日前電致外部略云常德府前經奏請開爲商埠已邀　俞允當即派員勘查地界畫定租界以便開埠現據委員稟報該處租界已經劃定地段豫備一切刻已照會各國駐長沙領事擬訂於五月十一日會同各國領事實行開埠希大部據實照會駐京各國使署等語

●某國對楊撫在山東情形　日前傳說某國駐京欽使頗不願楊蓮帥巡撫山東悉心整頓內政外交以力持主權出其運動手段煽惑愚民以冀楊蓮帥之更動此事已誌前報又聞有人云楊蓮帥於山東認眞舉辦新政於內外兩政頗有所整頓某國總督見之不害其所爲頗懷意見加以每值該督遇求利權楊蓮帥據理力爭斷不允某國獨佔特別利權以致彼此時見衝突蓋某國所求甚奢故也於是某國總督以爲如不去楊蓮帥某國利權萬難增長竟與其欽使聯絡一氣暗中運動以期更動蓮帥然某國之目的究竟難達迄今蓮帥依然留任頃聞楊蓮帥與某國總督近漸款洽毫無軋　情事云云此消息確否本館未能知悉如係確實則某國逾權舉動頗爲無理如我政府偷安姑息墜于某國術中馴致成例永啓干預內政之端豈可不畏哉

●拒法商請採昭通銅礦　聞雲南丁巡帥有電到京聲稱有法國大羅公司洋商邀求在昭通開挖銅礦惟昭通係官礦開決難允洋商攙奪利權請示辦法聞外部電覆飭即照會駐滇法領事嚴詞拒絕如該洋商瀆請可告其向隆興公司商議合股在該七屬內勘礦開採以淸權限

●鴨綠江木匪橫行　聞鴨綠江沿岸現有木匪蜂起于各地或數百成群或數十結隊或擅入樹林採伐木植或將入民家肆行刦掠勢極猖獗時或踰界擾累韓境現由趙次帥飭令地方官派兵勦辦然未見肅淸云

●電催羅道到京　上海公堂會審案尚未議定因外部擬待羅觀察忠堯到京商議辦法乃因玉帥奏明該道已給咨赴京引見日期迄今已將兩月羅道尚未到京故昨外部發電詢周玉帥並催羅道速行到京

●擬開牛心台之銅礦　聞商人郭某現組織公司擬開挖遼陽州牛心台之銅礦正在草議章程一俟議定即稟由商部批示立案矣

●回部呈進貢金　署新疆撫吳引孫奏爲回部坎巨提頭目進呈年例貢砂金應咨交內務府呈進照循例賞給大緞二匹飭領矣

●新疆開辦巡警　新疆巡撫奏陳新疆全省開辦警察並將詳細章程咨部查核等因已奉　旨著巡警部知道矣

●奏請加給津貼　聞庫倫辦事大臣電奏庫倫地居邊徼米薪昂貴痛苦異常所有官員及護防之委員弁勇等量加津貼賞需以示體恤應用欵項即由茶雜規銀項下提支按期奏報云

●饑民肇事彙志　鄂省平糶廠現已截止米價較昔尤昂食力各　紛紛索漲工資不遂罷業者已有數起官長已派重兵鎭壓新堤地方會匪煽惑饑民滋事曾紀前報刻聞大憲已派兵一小隊馳往彈壓幷由漢陽府撥欵六千金購米平糶現已安靜如恒

黃州府屬武穴地方因米貴饑民肇事搶掠該地錢店米店家十六日有電至省請派兵彈壓

武昌府屬興國州地方饑民以米貴由於米捐而起且以米捐爲學堂經費因相率將該學堂打毁毆傷學生四五人已飛稟至省派候補知府周松甫太守馳往查辦

雜報

●說票續聞　前報載說票招議一則昨聞趙某爲此被傳到案因而埠民人等有知之者皆曰趙某年邁氣血甚衰近年以來鄉里有事相求或時勉爲調說遠處即不勝其勞未聞伊說票之事訪事者以事關重大未敢含混了事當即暗行詢訪該里民互相紛論前次海賊綁票若干被綁各船群踵趙門求爲說票趙一因海賊豺狼其性倘逢彼之怒恐有不測之虞二因衰老憚勞且久患眼疾在家靜養尙不能痊詞不肯往故衆船主再四哀求而趙再四拒絕今反被說票之誣云云如此說者不約而同然則誣其說票之言胡爲乎來哉咸私議曰斯殆求趙說票之南城各船再四哀懇趙某再四拒絕於是啣恨因着人三三兩兩於街市之場佯爲傳聞問答之詞故布此流言耶抑或各船求趙時趙不惟不允反恨罵海賊兇惡由是各船自向賊處取贖私洩趙罵賊之語希圖獻媚賊黨而懷愆故肆行蛇蝎之毒計耶衆人紛紛懸揣究未悉其事之來由何而起也刻聞本埠船戶及趙某鄰里諸人齊往軍署稟懇保釋第未能確悉事果有無姑據有聞必錄之例備登其原委焉

●罪兵正法　昨聞河北來人云溝帮子地方有綏靖營兵數名日前曾夜捉鄉村富民之賭蓄藉勢搜掠錢財復索賭賄銀洋百數十元罷休越日鄉民曾具控於該營總辦傅君李君二君追查該兵底蘊內有三兵原係匪　匪當欲訊明就地正法惟恐激衆變前日乃將該棚調往河北二君躬同押至夜間研鞫三人確供一切屬實昨晨於河北業將其一正法其二兵聞將解向田庄台處一律正法云

●偃斃駭人　昨聞市人紛云東埠某鉅商有一主持糧石商籌任姓者前夜十點鐘時舖夥等皆扃戶偃寢乃將滅燭多尚未入甜鄉駭聞任於榻上怪嗷三聲繼則不聞動息諸夥殊訝爲詫異急向主人述之而群仃挑燈進前照視而任遍体皆青氣已絕矣咸曰據其形狀蓋被毒虫所囓耶後來詳細未聞云

●便民達電　日昨曾見河北電報局着人沿向本埠商鋪送一示白揭帖蓋曰該局總辦爲恤河南人民過河達電往往值風濤狂瀾不勝其險多有誤事茲乃請明上憲特於河南灶々店院內賃屋設一送電所於華歷五月六日開辦每晨九點起午後二點止凡有達電者即將電紙送於該所本局有人特僱舢板四隻往來遞送絕不有悞庶免爾等多涉風波之險云

●教會調查報告　前於閏四月十六日滿洲傳教英人開議會於西營口之火神廟調查一切到者甚夥踵趾相錯至二十八日始閉會計開會到者外國牧師二十五人中國長老四十人並考查光緒三十年信徒總數共一萬二千七百三十人三十一年又增多九百九十三人計用出各欵教會維持費一千三百十三弗九十仙教會雜費一萬三千七百二十一弗三仙學校費一千二百四十四弗二仙病院費一百八十弗十四仙聖書敎會費二百十五弗七十九仙諸給費一萬一千五百四十一弗六十三仙雜費一百九十十弗共三萬九千五百十一弗五十一仙該教會之日新月異由此亦可見其一斑矣

●得慶更生　昨午後有一錦州猪客回錦在大森茂碼頭特雇舢板過河身帶現銀洋二百餘元其船已抵北岸偶爾疏虞頭足落於水中沉沒多時後被隣船撈救得慶更生人財幸均無恙云

來函

陳幹仲叔二弟斷髮辭

斷我輩之髮兮脫我輩之奴態今後秉獨立之志力大同之學耀黑鐵於五洲灑紅血於八星日月再造乾坤重立興滅國繼絕嗣庶不負小子之職務矣丙午五月二日陳幹揮於營口理髮處　遼陽商務議院總裁中華陸軍學校經理支那陳幹

行　山海關發前八、一五　五、〇〇　塘沽同后二、二〇　四、一〇　天津着三、三四　五、五五　北京發三、四四　六、四五
北京發前八、〇〇　天津同　十一、〇九　塘沽同后二、三一前一〇、四五　六、二五　山海關着　六、二〇　六、一
大石橋發前八、〇五　后一、〇五　南關嶺后九、〇七塑后三、〇七　大連着同九、五〇　同一、二五
大石橋發前七、三五后一〇、三五　奉天同后三、五七前六、五七　鐵嶺着同七、三三同一〇、三五　開源昌　一、二三

木局

東青堆子橋南　淡谷木廠

永世街一四一（森病院三軒目）七號

土木建築用鐵材料　內外鑄物諸般

門會街東　喜所　報務

昨日の氣溫　昨年ノ日
最高溫度八十度一　高三度五
最低溫度六十七度一　低二度五

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 營口ホテル 元神廟街九十六號(電話八四番)

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

御料理並ニ溫泉 一力 沿岸通り 每日新湯 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前(電話一八七番、四四番) 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住喜藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街(電話一四五番) 店主 片山小みつ

旅館 大和館 永世街三十四號(電話十一號) 店主 濱田九一郎

御料理 梅廼家 營口二本町 田村瀧太郎

料理 萬梅 豊滋門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理旅館 醉花園 滋谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

御旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉(電話 號)

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉强キレーヂライシヒ 奉天小西關大街北側(電話 號)

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男(電話 號)

旅館料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎(電話 號)

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北(電話二十五號)

旅館料理店 日章館 牛肉すき燒 雞肉 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入(電話 號)

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎
今回大改良を加へ旅館專業にし御客樣の便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理店 新日奉館 奉天大西門際 館主 濱田アサノ

御旅料理館 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話

元祖 アイスクリーム
山金
斯道の元祖老夫婦が多年の經驗を積みし味を試み(アイスクリム)の由來如何を知れ
(淸國營口平野町)

和洋御料理 高等 遼東館 遼陽城內東街八九號 電話 號

煉瓦販賣
上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行煉瓦製造部(電話九十番)

御料理旅館 三河樓支店
弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本風の二楷造家屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上
樓主 川上總吉

硝子製造 營口青堆子街三百六十四號 菅野玻璃廠
THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY. No. 364, St. Chingtaizu, YINGKOW.

和洋諸雜貨 食料品卸小賣 各種賣藥卸小賣 奉天小南門ノ後 中越洋行 中越大藥房
但シ賣藥部ハ隨時診察ニ應ス
尚以後吉林長春ハルビン地方ヘ御越シノ方有之ハ聊カ御示談申上度義モ之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

宇治新茶 着荷發賣
○卸賣は內地並み ○小賣御並み
銘茶 松の綠 花橘 川柳 玉露(玉露製) 正喜撰(煎茶製)
郵便にて御注文下されば鐵道便のある處へは多少に不拘荷爲替の便法により迅速御屆可申候
大連伊勢町四一 海陸運輸公司內 宇治・林出張 井上賣茶部

御料理 本店 金城館 奉天小西關新來當街々(電話十九)

御旅館 金城ホテル 奉天小西門街大什字街(電話二〇)

御披露
追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御淸榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ更に江戸牛粹の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方樣には一入の興味を感せらるゝこと奉存候尚樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼旁わつさりと晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理 支店 金城館 營口永世街(電話八三)

御旅館 支店 金城ホテル 營口永世街

御料理 支店 金城館 大連市吉野町

御旅館 支店 金城館 大連市吉野町

御旅館 和洋御料理 奉天館 奉天軍政署指定旅館 奉天城內鐘樓南大街(電話十四番)

日淸倶樂部 奉天城內大南門裡大街(電話十五番)
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髪 裁縫
氷卸小賣所

大日本政府特定 營口付紙捲煙草 滿州一手輸入發賣
江副洋行 營口永世街

ビールも雜貨も船毎に新輸入とは 愉快だね アハヽヽヽ

各種雜貨一概俱全
加藤洋行
營口東海關後街

廣告
高等麥酒スペシヤルライト
スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尙夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部(電話五番)
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

滿韓境上唯一樂園 五龍背溫泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新綠滿タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
效能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

爲替相場(六月二十六日)
日本向 百〇二圓二十五錢(電票百圓に付)
上海向 七十一兩八分ノ三(同)
天津向 一百三圓六十二錢五厘(百兩に付)

日本品最近物價表 加藤洋行
半紙 一紙 二圓九十錢より三圓廿錢
美濃紙 一〆 七圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙